



## ■はじめての校外模試。どう受ける？

期末考査が終了しました。ほっとしている人も多いと思いますが、明日は各学年ともにベネッセの校外模試が行われます。1年生にとっては初めての全国規模の模擬試験ということになります。定期テストと校外模試では何が違うのか、その意味と重要性をしっかりと理解した上で試験に臨みましょう。7月の校外模試の大きなテーマは以下の3点であるといえます。

### ①1学期の時点での自分の学習到達状況（特に苦手分野）を知る

新学期の授業が始まって3か月、教科によっては取り組みに課題を残すものもあると思います。校外模試を受験することで、「この時期にはこのくらいできてほしい」レベルとの差を認識することができます。過去の全国の受験生の到達状況を踏まえて作成された問題により、客観的な自分の学力を測ることができます。

### ②全国における自分の立ち位置を知る

皆さんが大学入試で勝負する相手は全国の受験生です。隣の友達ではありません。1年生には、初めて見るような「偏差値」が出る人もいるかもしれませんが、あくまで「大学進学を目指す生徒」のなかでの立ち位置ですので中学校のときの偏差値とは意味が全く違います。そして、同じ業者の模試を続けて受けることで自分の学力の推移が見て取れます。過去の自分と勝負するつもりで成績推移を見てほしいと思います。

### ③夏休みに向けての学習テーマを見つける

夏休みまで20日ほど。「夏休みにどんな学習をしたか」が2学期以降の成績を大きく左右します。そしてその答えは今回の模試の結果のなかにある、といっても過言ではありません。今回の模試で反省が残る教科・分野を夏休みの最優先テーマとして設定することで、効率よい学習計画が作れるはず。

そして、皆さんに強く訴えたいのは「模試はあくまで模試（であって本番ではない）」ということ。前女という同じ環境のもとで切磋琢磨しあう仲間たちとの優劣を競うものではありません。期待ほどの結果がでなくてもくよくよする必要はありません。「夏休みに向けて自分のやるべきことが見つかった」と前向きにとらえて次の模試に向けての準備をすることです。今回の模試の前後で皆さんがやるべきミッションは

- ・デジタルサービスに志望校や目標得点を入力しよう
- ・受験後すぐに自己採点を行い復習しよう
- ・今回の模試で浮き彫りになった弱点を踏まえて、夏休みの学習計画を立てよう（そして8月の全統模試で課題が克服できたかチェックする！）

です。しっかり頑張りましょう。

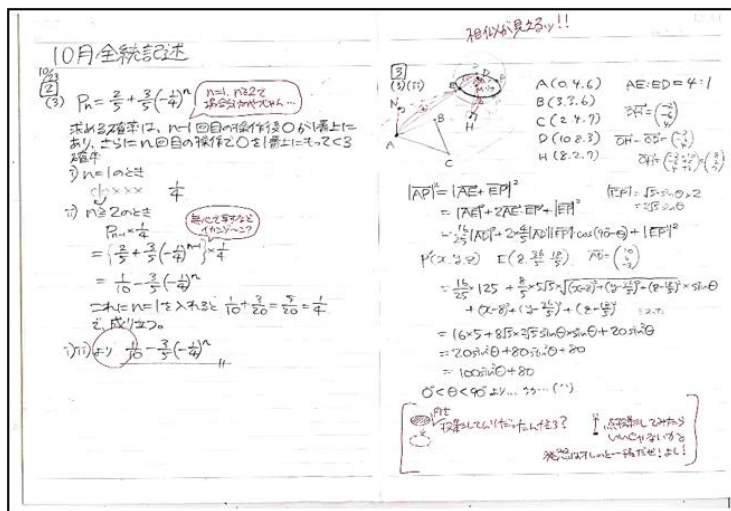
## ■定期試験や校外模試は、復習が命！

テストが終わったら、すぐに復習し、間違えた原因や対策をしっかりと整理することが大切。そのためにも、所謂「反省（懺悔？）ノート」を教科ごとに作ることを勧めます。ノート1冊に、間違えた問題（コピーなどして貼付け）と自分の解答、間違えた原因や考え方のポイント、関連する参考書の問題などをまとめ、もう一度丁寧に解き直してみましょ。ノートは右側のページは空けておく（後でもう1度解いたり、新たに気付いたポイントが書き込めるように）などして、贅沢に使いましょ（時折、後で書き込みができないくらいギュウギュウに詰まったノートを見かけ

### 活用しよう！校外模試



ますが、「もったいないかな」と思うくらい余白をたくさん残しておくのが大切です。3年間試験が終わるたびに自分のミスを記録していけば、受験が始まる頃には、自分の弱点が詰まった最高のテキスト（そして、最高のお守り）になっているはず。進路指導室にも卒業生が寄贈してくれた模試ノートを展示していますので、参考にしてみるとよいのではないのでしょうか。



## ■PTA 進路講演会の様子

24日に前橋市民文化会館で PTA 進路講演会が行われました。講演会前半では、昨年度の卒業生2名 [Hさん（高崎経済大学）、Oさん（群馬大学）] に来てい

ただき、受験期の家族との関わり等について話してもらったほか、群馬大学医学部 Uさんからはメッセージをいただき紹介させていただきました。苦しい受験生活のなかで、家族のサポートが非常に大きく、あらためて感謝の気持ちを伝える姿が印象的でした。

受験期に限らず、日々の生活を冷静に振り返ってみると、いろいろな場面で家族のサポートを感じると思います。当たり前すぎて感謝の気持ちを伝える機会が見つげにくいと思いますが、時には言葉に出して「ありがとう」と伝えることも大事です。夏休みは是非家事の手伝いなども学習(?)の計画に組み入れておきましょう。



### Hさんのコメント（概要）

両親は私の考えを尊重して口出しせず、信じて見守ってくれました。オープンキャンパスや進路希望調査も一緒に考えてくれ、漠然とした不安で涙が溢れた時には、母が私の気持ちをすべて受け止めてくれました。また、受験生だからと特別扱いされず、大掃除などの家族の役割を果たすことが良い息抜きになりました。父は意識して普段通りに接し、受験当日の朝には緊張をほぐすメッセージを送ってくれました。母は模試の日の送迎や、リビングで勉強する私のために静かな環境を作ること、入試要項の把握や栄養面での体調管理を徹底してくれました。中期試験直前に風邪を引いてしまった妹も、実は風邪を引かないよう努力してくれていたと知りました。生活や勉強方法を信じて見守り、相談には真剣に向き合ってくれた家族の存在が私の大きな支えとなり、後悔なく受験を終えることができました。

### Oさんのコメント（概要）

私の受験における学習のポイントは、苦手科目の早期克服と基礎の徹底です。工学部志望でありながら物理が苦手な赤点寸前だったため、高2の冬から高1の「物理基礎」に立ち返って学び直しました。高3の夏休みには、塾で毎日約9時間のうち多くを物理の勉強に費やした結果、夏休み明けに大きく成績を伸ばすことができました。受験期に辛かった時の対応策は、周囲の力を借りることと、本番の環境に慣れることです。一人での勉強に思い詰めた時は、塾の大学生チューターに質問や相談をして心の支えにしました。また高3の6月に大病の可能性から手術を受けることになり、受験への強い不安に襲われましたが、友人たちのお守りやノートの代筆、先生方の励ましに支えられて乗り越えられました。さらに、入試本番の重い空気に圧倒されないよう、事前に私立大学を受験して独特の緊張感を肌で経験しておいたことが、第一志望の二次試験を落ち着いて乗り切るための大きな備えとなりました。

### Uさんのメッセージ（概要）

受験期の支えとなったのは、食事や送迎、話し相手などで全力で応援してくれた家族の存在でした。また、友人とアプリで勉強記録を共有して刺激を受けましたが、周囲に振り回されないよう時期に応じた使い分けや自習室の活用に積極的に取り組んでいました。誘惑の多いスマホ対策としては、タイマー式ロックケースの活用や「寒い玄関でのみ使用する」という家族ルール、画面のモノクロ化など、強制的に使用時間を減らす工夫を実践しました。前女の先生方は親のように熱心で、質問への丁寧な対応だけでなく、授業中の発展的な話が現在の大学での化学の学びに繋がっていると感じます。受験の苦しみは大学へのステップであり、周囲を頼りながら乗り越えてほしいと願っています。